

平成29年度 事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人ニューマン理論・研究・実践研究会

1 事業の成果

本年度は、設立後、初めて年間を通して事業を展開した年となった。理論に導かれた看護実践の普及と能力の向上を目的とした対話集会ならびに3回の学習会の内容の充実と参加者の定着を目指した。対話集会は台風日に遭遇して参加者数が減少したが、内容が充実していたために、参加者の満足度は高かった。実践的看護研究活動の支援を目的とした6回コースの学習会では、参加者数を増やし、内容の充実を図った。話題提供して活躍する人も現れ、予定通りの成果を上げている。

さらに、今年度特記すべきことは、看護師をはじめとした医療職者が多数参加する2つの学術集会（日本統合医療学会と日本がん看護学会）で、ワークショップと交流集会を開催したことである。本NPO法人の活動を、看護師のみならず、医師、鍼灸マッサージ師、ヨガやアロマセラピストなど広く保健・医療・福祉関係者に知らしめたことで、本法人の活動への関心が広まり、ホリスティックな考え方をするグループとの交流がはじまった。情報発信という点では、ホームページをリニューアルしたことで、活動状況を迅速にかつ広く発信することが可能となった。会員の把握の点でも利点が増し、連絡や情報交換が取りやすく、かつ事務局の手間を減じることができるようになった。国際交流という点では、2つの英語論文が予想を超えた海外の医療関係者の関心と呼び、改めて国際性という意識が喚起された。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
1. 対話集会、学習会の開催による、ニューマンの健康の理論より深い理解とそれに導かれた看護実践能力を高めるための学習、啓発、普及活動	理論の理解とその看護実践能力を高めるための第1回学習会（基礎編）を開催した	6月4日（日） 10時～16時	武蔵野大学看護学部	7人	看護師、医療・保健関係者 44人	87
	理論の理解とその看護実践能力を高めるための第2回学習会（応用編）を開催した	10月28日（土） 13時～18時	首都大学東京健康福祉学部	12人	看護師、医療・保健関係者 39人	82
	理論と看護実践を結びつけた看護活動を発表し合い、意見を述べ合う対話集会を開催した	10月29日（日） 10時～16時	首都大学東京健康福祉学部	19人	看護師、保健・医療・福祉に携わる専門家 57人	70
	理論の理解とその看護実践能力を高めるための第3回学習会を開催した	2月18日（日） 10時～16時	神奈川県立がんセンター	11人	看護師、医療・保健関係者 49人	79
2. ニューマンの健康の理論に導かれた実践的看護研究に関して、学術的側面からの研究活動、ならびに相談・助言・支援活動およびアドバイザーの育成・教育活動	理論の理解とそれに導かれた実践的研究能力を高めるためのプラクシスリサーチ学習会全6回コースを開催した。	1回目 5月28日（日） 2回目 7月30日（日） 3回目 9月24日（日） 4回目 12月10日（日） 5回目 1月21日（日） 6回目 3月18日（日） 全10時～15時	関東中央病院	1回目2人 2回目3人 3回目3人 4回目2人 5回目2人 6回目3人	看護師、保健・医療・福祉に携わる専門家 1回目 9人 2回目 9人 3回目 8人 4回目 8人 5回目 8人 6回目 8人 延べ人数合計 50人	87
3. ニューマンの健康の理論と看護実践の学習会支部や院内プログラムの学習会支部に基づきアドバイザーと活動や院内学習会の立ち上げの支援	学習会参加者の中から、学習会の支部や院内プログラムを立ち上げたいという希望に基づきアドバイザーとして支援する。				看護師、医療関係者、医療施設・大学施設開設者	0

<p>4. 看護基礎理論に基づく実践・研究に 教育や卒後教 育に関して、 教育機関、医 療施設などへ の講師、アド バイザーの派 遣等によるニ ューマンの健 康の理論に導 かれた看護実 践に関する助 言、教育、支 援活動</p>	<p>理論に基づき、依頼を受けて、講 演、講義、研修会や学習会 での講師・アドバイザーと して出向いた。</p>	4月15日 (土)	天理医療大学	1人	6人	0	
		5月20日 (土)	天理医療大学	1人	7人		
		5月22日 (火)	北里大学病院	2人	12人		
		5月31日 (水)	聖マリアンナ医科 大学病院	1人	13人		
		6月10日 (土)	天理医療大学	1人	6人		
		6月13日 (火)	関東中央病院	1人	59人		
		7月 8日 (土)	天理医療大学	1人	7人		
		7月25日 (火)	神奈川県立保健福 祉大学大学院	1人	3人		
		7月28日 (金)	川崎市立井田病院	1人	13人		
		7月30日 (月)	北里大学病院	2人	12人		
		8月 2日 (水)	相模原協同病院	1人	30人		
		8月 8日 (火)	川崎市立井田病院	1人	19人		
		8月18日 (金)	武蔵野大学大学院	1人	2人		
		9月 5日 (火)	川崎市立井田病院	1人	12人		
		9月 8日 (金)	武蔵野大学大学院	1人	2人		
		9月 8日 (金)	川崎市立井田病院	1人	7人		
		9月28日 (金)	北里大学病院	2人	12人		
		10月13日 (金)	関東中央病院	4人	59人		
		10月15日 (土)	天理医療大学	1人	7人		
		11月 3日 (土)	青梅市立総合病院	3人	35人		
		11月10日 (金)	北里大学病院	1人	11人		
		11月11日 (土)	天理医療大学	1人	8人		
		11月14日 (火)	関東中央病院	1人	55人		
		11月14日 (火)	東海大学	1人	25人		
		11月18日 (土)	東海大学	1人	3人		
		11月28日 (火)	川崎市立井田病院	1人	9人		
		11月29日 (水)	川崎市立井田病院	1人	7人		
		12月 8日 (金)	北里大学病院	1人	11人		
		12月 9日 (土)	青梅市立総合病院	1人	17人		
		12月 9日 (土)	関東中央病院	1人	25人		
		12月12日 (火)	東海大学医学部付 属八王子病院	1人	3人		
		12月19日 (火)	東海大学	1人	10人		
		12月27日 (水)	川崎市立井田病院	1人	6人		
		2018年					
		1月12日 (金)	北里大学病院	1人	11人		
		1月20日 (土)	青梅市立総合病院	1人	14人		
		1月20日 (土)	天理医療大学	1人	8人		
		1月23日 (火)	東海大学	1人	3人		
		2月 2日 (金)	北里大学病院	1人	11人		
		2月 9日 (金)	神奈川県看護協会	1人	79人		
		2月17日 (土)	青梅市立総合病院	1人	16人		
		2月17日 (金)	南九州病院	1人	2人		
		2月17日 (土)	天理医療大学	1人	7人		
		2月19日 (月)	東海大学	1人	3人		
		2月24日 (土)	東海大学	1人	7人		
		3月 5日 (月)	東海大学	1人	3人		
		3月 6日 (火)	北里大学病院	1人	25人		
3月10日 (土)	天理医療大学	1人	9人				
3月16日 (金)	東海大学医学部付 属八王子病院	1人	3人				
3月17日 (土)	川内看護専門学校	1人	12人				
1月31日 (水)	聖マリアンナ医科 大学病院	1人	10人				
					医療施設・大 学施設開設 者、学会開催 者など 合計736人		

<p>5. 地域における患者会・家族会などとの交流活動、ならびにニューマンの健康の理論に基づく支援活動</p>	<p>患者会・家族会との交流の機会を積極的に作り、理論に基づき、患者や家族が自身の持つ力に気づき、意識を高めていけるようなプログラムで協働する。患者会・家族会等からの要望により、交流会に出席する。</p>	<p>がんサバイバーと市民と医療関係者による「生活習慣見直し対話の会」立ち上げ支援</p>	<p>東京新宿メディカルセンター</p>	<p>1人</p>	<p>がんサバイバーや市民を支援する看護師、ソーシャルワーカー、栄養士ら6名</p>	<p>0</p>
<p>6. 保健・医療・福祉に携わる専門職者との交流により、相互の専門性の理解および質的向上を図る活動</p>	<p>ホスピスセミナー ナースの見方が変わるとケアが変わる ～マーガレット・ニューマンの健康の理論とがん看護実践～</p> <p>第21回日本統合医療学会学術大会でニューマン理論に基づく看護実践を3例紹介し理論解説と様々な医療職者とのワークショップと対話を行った。</p> <p>テーマ：「病気や近づく死の体験の中で苦悩する患者・家族が、生きる意味を見出し、一步を踏み出すことへの支援 ～マーガレット・ニューマンの健康の理論に基づく看護実践へのお誘い～」</p> <p>第32回日本がん看護学会学術集会でニューマン理論に基づく倫理の観点から事例をもとに看護実践と実践的看護研究を進める上での倫理的課題について交流集会を行った。</p> <p>テーマ：Newman理論に導かれた看護実践 ～看護実践および研究を行う上での倫理的課題についての対話～</p> <p>抄読会での発表：テーマ「看護理論・実践・研究について(自己の研究報告をかねて)」</p>	<p>11月11日(土)</p> <p>11月26日(日) 10時30分～12時</p> <p>2月3日(土) 10時30分～12時30分</p> <p>2018年3月2日(金)</p>	<p>ピースハウスポスピス教育研究所</p> <p>東京有明医療大学</p> <p>幕張メッセ</p> <p>聖マリアンナ医科大学病院</p>	<p>1人</p> <p>10人</p> <p>10人</p> <p>1人</p>	<p>ホスピスケアに関わる看護師・医師・ケアスワーカーら15人</p> <p>保健・医療・福祉関係者専門者60人</p> <p>看護師、医療関係者、医療施設・大学施設開設者など114人</p> <p>看護師・腫瘍内科医師・薬剤師ら8人</p>	<p>70</p>

<p>7. 地域住民・患者・患者家族ならびに看護師、保健師、助産師に対して、ニューマンの健康の理論に基づいた看護実践を紹介するための広報活動、出版ならびに情報発信活動</p>	<p>ホームページをリニューアルし、活動内容を随時更新、広報活動を実施</p> <p>「看護実践の科学」(看護の科学社)の‘ニューマン理論・研究・実践研究会の広場’に、理論に基づく看護実践に関する論文を2題掲載</p> <p>「造血幹細胞移植後1年未満で困難感を抱いている患者と家族とのケアリング・パートナーシップのケア(大政智枝、遠藤恵美子)」</p> <p>「何事も1人で頑張ってきた終末期がん患者A氏のケアとその意味づけ—M.ニューマン理論の観点からケアの振り返りを通して(鈴木貴美、遠藤恵美子)」</p> <p>「Holistic Magazine, 2018」に論文掲載</p> <p>「患者の変容を生み出すニューマン理論に基づいた看護ケア(遠藤恵美子)」</p>	<p>通年</p> <p>6月号(42巻6号), pp. 58-64</p> <p>12月号(42巻13号), pp. 44-49</p> <p>2018年2月28日発行 pp. 18-21</p>	<p>法人事務所及び医療・保健・福祉に関連する施設等</p>	<p>2人</p> <p>4人</p> <p>2人</p> <p>2人</p> <p>1人</p>	<p>ホームページにアクセスできる人、不特定多数</p> <p>「看護実践の科学」の読者、不特定多数</p> <p>「看護実践の科学」の読者、不特定多数</p> <p>「看護実践の科学」の読者、不特定多数</p> <p>「Holistic Magazine, 2018」の読者、不特定多数</p>	<p>232</p>
<p>8. 諸外国の看護師を初めとする保健医療従事者、患者・家族、市民へ、日本の健康の理論に基づく看護活動についての情報発信ならびに国際交流活動</p>	<p>国際学術雑誌にニューマン理論とそれに基づいた日本における看護実践を発表した。広い読者を獲得し、メールによる本NPOの活動などを紹介する機会を数多く得た。</p> <p>Newman's theory of health and nursing intervention from a unitary perspective (E. Endo)</p> <p>A patient with cancer and her family in caring partnership based on Newman's theory of health. (Y. Fujiwara & E. Endo)</p> <p>2名の理事がニューマン博士を訪ね、博士に近況を報告。また博士が関係するテネシー大学看護学部教員とニューマン理論に基づく看護教育に関する対話の会を実施・参加。</p>	<p>Asian-Pacific Oncology Nursing, Vol.4(1), pp. 50-52.</p> <p>Ditto, Vol.4(3), pp. 265-268.</p> <p>2月26日(月)</p> <p>2月27日(火)</p>	<p>法人事務所及び医療・保健・福祉に関連する施設等</p> <p>米国テネシー州メンフィス市テネシー大学看護学部</p>	<p>1人</p> <p>2人</p> <p>2人</p>	<p>欧米系、アジア系の看護師、医療関係者、医療施設・大学施設開設者など多数</p> <p>米国の看護学研究者多数</p>	<p>50</p>

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日 時	実施場所	従事者の人数	事業費の 金額 (千円)
なし					